

臨床実習部分再開にあたって

～私たちの心構え～

第2版 令和2年9月

原則1 患者さんや医療従事者に感染させない

- ・手洗いと手指消毒を徹底し、診察後には器具のアルコール消毒をしよう。
- ・マスク着用を徹底し、付け方・外し方・保管方法に気を配ろう。
- ・エレベーター利用の際は密接・密集回避を徹底しよう。
- ・密を避けるため院内での昼食は控え、三密回避ができる場所にしよう。
- ・院内の廊下での不必要な会話は控えよう。

原則2 自分や仲間を感染させない

- ・ロッカーは実習生同士で三密をつくってしまうため、滞在時間を短くしよう。
- ・休むことは悪ではないため、体調不良は速やかに申し出よう。
- ・休憩時も Social Distance を意識し、マスク着用を心がけよう。
- ・実習着はこまめに洗おう。

原則3 自ら学ぶ姿勢で考える

- ・実習中に何を学ぶべきか、常に自問自答しながら行動しよう。
- ・班員や仲間とも常に情報交換し、何が適切かを考えよう。
- ・自分や仲間でも適切な対応がわからない場合は、指導医や学務に相談しよう。

5年次有志一同

代表：菊池諒一

副代表：女屋隼人

監修：医学科学務委員会

附属病院感染制御センター